

2026年6月12日

各 位

会 社 名 デジタルグリッド株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長CEO 豊田 祐介
(コード番号：350A 東証グロース市場)
問い合わせ先 取締役 CFO 嶋田 剛久
TEL. 03-6277-7123

決算説明会のご質問とご回答 (2026年7月期 第3四半期)

日頃より、当社の事業活動にご関心をお寄せいただき、誠にありがとうございます。2026年6月11日(木)に実施した「2026年7月期 第3四半期決算説明会」にてお寄せいただいたご質問とその回答について、下記の通り開示させていただきます。本取り組みは、投資家の皆さまへの情報提供を一層強化し、フェア・ディスクロージャーを実現することを目的としております。

なお、記載されている回答内容は、開示時点における当社の判断・見解に基づくものであり、今後の状況の変化や新たな情報の入手によって見直される可能性がある点をご留意ください。また、投資判断を行う際は、必ず最新の開示情報をご確認いただくようお願い申し上げます。

※本説明会の様子は YouTube (公式チャンネル) でも公開しております

<https://www.youtube.com/live/3DxTQsPIQc4>

※説明会の資料はこちらをご参照ください

2026年7月期 第3四半期決算説明資料

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/350A/tdnet/2834480/00.pdf>

Q1：修正後の通期計画について、売上高・営業利益のセグメント内訳を教えてください。

修正後の内訳については、現時点で開示を行っておりません。ご了承いただければと思います。

Q2：通期計画営業利益の従来比4.7億円上振れの定量的な分解をお願いします。特に、電力PF事業の利益が一般送配電事業者との精算額でどの程度押し上げられているか、契約容量等の要因が持続することで2027年7月期中計目標を引き続き押し上げることが期待される上振れほどの程度か、に関心があります。

基本的には、現在開示している決算説明資料の8スライド目に売上の内訳を開示しておりますので、そちらをご参考にしていただければと思います。要因としては、一般送配電事業者様との精算額に加え、アグリゲーションサービス(調整力事業)の立ち上がりが想像以上のペースで進んでいることが寄与しております。また、電力PF事業についても契約容量888MWまで積み上げており、お客様の数も順調に増えていることから、2027年7月期にも当然効果が出る内容になっていると考えております。

Q3：電力 PF は3Qに取扱量当たり DGP 手数料が低下しているように見えますが、こちらは主に4月の契約更改の影響とのことです。4月で単価が下落したとすれば、それは中計における見立てと比べてどのようなものだったでしょうか。

4月から単価が下がることは、2026年7月期の当初予算でもともと見込んでいたことであり、中期経営計画においても単価が少し下がるという見立てにしておりますが、現時点においては当初策定した計画からの大幅なズレはないと考えております。今後の状況次第ではありますが、4月については手数料単価の面でも契約の獲得の面でも悲観するケースというよりは、きちんと契約容量を積み上げている状況にあります。

以上